

Course number		U-LAS55 10001 SB31					
Course title (and course title in English)	多文化教養演習：見・聞・知@インドネシア			Instructor's name, job title, and department of affiliation	Institute for Liberal Arts and Sciences Professor,KAWAI JUNKO		
	Seminar for Multicultural Studies : Watch, Listen and Learn @ Indonesia				Institute for Liberal Arts and Sciences Associate Professor,HAN LIYOU Institute for Liberal Arts and Sciences Program-Specific Associate Professor,WAKAMATSU FUMITAKA		
Group	Career Development			Field(Classification)			
Language of instruction	Japanese and English			Old group		Number of credits	2
Hours	30	Class style	seminar (Face-to-face course)		Year/semesters	2025・Intensive, Second semester	
Days and periods	Intensive TBD		Target year	All students	Eligible students	For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>多文化教養演習：見・聞・知@インドネシアは、京都大学が実施する「多文化共学短期[派遣]留学プログラム」と呼ばれる短期留学、事前学習、事後学習から成る授業である。見・聞・知は、「けん・ぶん・ち」と読み、様々な人々と対話し、多文化に深く接する経験を積むこと（＝見・聞）、そしてその経験の中で主体的に学んでいくこと（＝知）が重視されることを表している。</p> <p>本演習の目的は、多様な文化的背景を持つ学生と共に学ぶことを通して、相手文化への理解を深めるとともに、自分自身が身につけてきた文化をも捉え直す経験をし、それを日本語、英語、もしくは現地の言語で表現できるようになることである。これらのことは、将来にわたって国際活動を行うための基礎能力を養成することとなる。</p> <p>具体的には、京都大学と大学間学生交流協定関係にあるインドネシア大学の協力を得て、(1)派遣先大学が提供するインドネシア語講座、(2)現地学生との共同セミナー・共同学習、(3)派遣先大学提供の講座受講・実習・実地研修・文化体験を行う。</p> <p>(1)のインドネシア語講座では、初学者向けのインドネシア語講座を受講する。(2)の共同セミナーにおいては、両国の文化の比較や社会情勢について両大学の学生による合同発表をおこなう。また、(3)インドネシア大学の講義にも現地学生とともに参加する。文化体験においては、インドネシアの食文化、史跡見学、伝統楽器の演奏体験など、多角的に現地文化を体験する機会が提供される。</p>							
[Course objectives]							
<ul style="list-style-type: none"> ・短期留学の経験並びに現地の学生と共に学び議論することを通じて、派遣先であるインドネシアの文化、社会、習慣への理解、さらには日本とインドネシアとの関係ひいてはアジア諸国についての理解を深める。 ・上記の活動を通じて、日本文化あるいは自分自身が身につけてきた文化を相対化して客観的に捉えながら、それを相手に分かりやすく伝えられるようになる。 ・現地で提供される講義、実地研修を通じて、文化、社会、習慣について多様なアプローチを理解する。 ・現地学生を含む多様な文化的背景を持つ学生とコミュニケーションを図る意義を理解し、それを可能とする能力の基礎を習得する。 ・インドネシア語の基礎を習得し、基礎的なやりとりができるようになる。 							
[Course schedule and contents]							
<p>・当プログラムには別途申し込みをする必要があるため、申込方法などについて登録者に送られる案内、KULASIS等を参照すること。</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to 多文化教養演習：見・聞・知@インドネシア(2)</div>							

・研修の詳細についてもKULASISで確認すること。

全体スケジュール（予定）

（１）2月上旬～2月中旬：事前語学授業(12時間程度)、共同セミナー発表準備講座（3時間程度）

（２）2月中旬～3月上旬：短期留学プログラム（於、インドネシア大学）

プログラム内容（仮）

- 1日目 日本発、インドネシア着
- 2日目 09:00-10:40 インドネシア語授業
11:00-12:40 インドネシア語授業
16:00-18:00 キャンパスツアー
- 3日目 09:00-10:40 インドネシア語授業
11:00-12:40 インドネシア語授業
14:00-16:00 文化体験（伝統舞踊研修）
16:30-18:30 共同セミナー準備
- 4日目 09:00-10:40 インドネシア語授業
11:00-12:40 インドネシア語授業
14:00-16:00 実習（日本語授業参加）
- 5日目 09:00-10:40 インドネシア語授業
11:00-12:40 インドネシア語授業
16:30-18:30 共同セミナー準備
- 6日目 09:00-10:40 インドネシア語授業
11:00-12:40 インドネシア語授業
14:00-16:00 文化体験（伝統工芸研修）
- 7日目 09:00-18:00 課外研修（史跡訪問等）
- 8日目 日曜日 休み
- 9日目 09:00-10:40 インドネシア語授業
11:00-12:40 インドネシア語授業
14:00-16:00 文化体験（伝統楽器・演奏研修）
16:30-18:30 共同セミナー準備
- 10日目 09:00-10:40 インドネシア語授業
11:00-12:40 インドネシア語授業
16:00-18:00 講義受講「翻訳」
- 11日目 09:00-10:40 インドネシア語授業
11:00-12:40 インドネシア語授業
16:00-18:00 共同セミナー準備
- 12日目 09:00-10:40 インドネシア語授業
11:00-12:40 インドネシア語授業
16:00-18:00 共同セミナー準備
- 13日目 09:00-10:40 インドネシア語授業
11:00-12:40 インドネシア語授業
13:15-18:00 共同セミナー
- 14日目 インドネシア発、日本着
- （３）3月下旬 報告会（1.5時間、於、京都大学）

[Course requirements]

全学共通科目「日本語・日本文化演習」を受講した上での参加を推奨する。インドネシア語初学者も歓迎するが、文学部・文学研究科提供「インドネシア語（初級）」等の関連科目を受講してい

多文化教養演習 : 見・聞・知@インドネシア(3)

ることが望ましい。

[Evaluation methods and policy]

事前学習への参加状況 (15%)、派遣先大学における評価 (60%)、帰国後の報告会および報告書 (25%) による。

[Textbooks]

Instructed during class

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

- ・ 現地文化、現地社会に関する文献を読むこと。
- ・ 現地で受講する講義で指定される文献を読んでおくこと。

[Other information (office hours, etc.)]

- ・ インドネシア大学側プログラム実施責任者
インドネシア大学 人文学部教授 日本プログラム所長 フィリア(Filia, Professor, Director of Japanese Studies Program, Faculty of Humanities, University of Indonesia)
インドネシア大学 人文学部講師 日本語プログラム ムハマッド・アリエ・アンディコ・アジエ
(Muhammad Arie Andhiko Ajie, Lecturer, Japanese Studies Program, Faculty of Humanities, University of Indonesia)
- ・ 必要な教科書、保険、費用等についてはオリエンテーションで説明します。
- ・ 本科目は採点報告日以降に実施するため成績報告が遅れます。

[Essential courses]